九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

新・韮生槇山風土記 : 高知県香美市域120人から聞いた村の歴史・生活・民俗

楠瀬, 慶太
九州大学大学院比較社会学府日本社会文化専攻 : 修士課程

服部, 英雄
九州大学大学院比較社会文化研究院 : 教授

https://doi.org/10.15017/1516062

出版情報：2008-03-25. 九州大学大学院比較社会文化研究院服部英雄研究室
バージョン：
権利関係：

目次

地域資料叢書９『新・韮生槇山風土記』の刊行に寄せて

序章　歴史深き土地－韮生・槙山

１、はじめに……1
２、位置と環境……2
３、韮生・槙山の歴史……2
４、調査・研究の概要……4
５、研究史と問題の所在……5
６、資料と方法……6
７、本書の構成……9

第一章　新・韮生風土記……11

巻一　神母木―韮生谷の入口・木材流しの中継地―……11
巻二　白川―村が歩んだ土地開発の歴史―……19
巻三　美良布―香北の中心・流通の中継地―……27
巻四　清爪―変わりゆく景観―……32
巻五　神池―山の上の広大な土地―……37
巻六　柳瀬―ダムに沈んだ村―……42
巻七　安丸―上韮生の中心・信仰の村―……48
巻八　黒代―畝に広がる棚田―……53
巻九　五王堂―上韮生の開発先進地―……57
巻十　笹―普賢堂が繋いだ阿波との交流―……62
巻十一　南池―南池十三名と消えゆく村の記憶―……67
巻十二　中上―誰もいない村―……71
巻十三　大西―オロシが吹き落とす村―……74
巻十四　久保―韮生の最奥―……78

第二章　新・槇山風土記……85

巻一　庄谷相・拓―槇山郷の入り口―……86
巻二　中谷川―赤牛が通った道―……91
巻三　頓定―天水田の開発―……94
巻四　大栃―物部の中心・流通拠点―……97
巻五　山崎―紙漉と製材の村―……101

巻六　仙頭―中世大忍庄槇山の中心―……110
巻七　押谷―川口小学校の焼夷弾と小峯の鬼火―……117
巻八　小浜―お茶作りの村―……123
巻九　根木屋―材木流しの難所荒瀬―……126
巻十　岡ノ内―土居と天ノ神大祭―……130
巻十一　別役・市宇―山麓に続く集落―……136
巻十二　別府―槇山最奥の村―……142

第三章　韮生・槇山の歴史・生活・民俗……149

巻一　地名の現地比定から見た『長宗我部地検帳』……149
巻二　韮生・槇山の地域性と地域構造……162

終章　変わりゆく村の姿と消えゆく村の記憶……165
巻一　村の現状……165
巻二　村の課題と村人の声……167
巻三　終わりに……169

参考文献……170
調査協力者……172
あとがき……174

付属 CD

・『長宗我部地検帳』記載集成表
・香美市地名集成表